

第 1 回 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催の報告について

- 1 開催日時 令和 3 年 5 月 19 日(水) 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
- 2 開催場所 加古川市立青少年女性センター 4 階 大会議室【ウェビナー形式にて実施】

3 議 事

(1) 令和 2 年度 3 学期いじめ防止対策の取組状況に係る報告

<事務局説明>

① 未然防止への取組について

- 第 13 回加古川教育フォーラム ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により中止
・「心の絆プロジェクト」テーマ「つながり愛 みとめ愛 愛のあふれる加古川に」
- 市内中学校(1 校)2 年生を対象とした相談行動促進(自殺予防教育)授業の実施

② 早期発見・早期対応への取組について

- 第 2 回学校生活適応推進研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により中止
- いじめの認知件数(年間)
 - ・小学校 628 件、中学校 208 件、合計 836 件
- いじめの形態(年間)
 - ・からかい・悪口 513 件、暴力 96 件、仲間外れ・無視 56 件、ネットでの誹謗中傷 28 件 他
- いじめ発見のプロセス(年間)
 - ・児童生徒から 328 件、保護者から 254 件、アンケートから 184 件 他
- 不登校児童生徒への支援の充実(年間)
 - ・不登校児童生徒数：小学校 105 人(昨年度比 22 人増)、中学校 333 人(昨年度比 39 人増)、合計 438 人
 - ・不登校改善率：小学校 31 人(29. 52%(昨年度比 9. 04%増))、中学校 93 人(27. 93%(昨年度比 6. 5%増))

③ 関係機関との連携を強化した取組について

- スクールサポートチームの活動状況について(年間)
 - ・学校支援カウンセラーによるアウトリーチ件数：55 件(昨年度比 35 件増)
 - ・スクールロイヤー相談件数：20 件(昨年度比 7 件増)
- ネットパトロール事業の実施状況(年間)
 - ・専門機関からの情報提供数：2, 573 件(うち学校への対応依頼 22 件)
 - ・学校への対応依頼分については、生徒及びその保護者に対し安心・安全なインターネット利用についての指導を学校へ依頼

④ 推進体制・検証体制を整える取組について

- アセス・心の相談アンケート及び教育相談による推進体制の検証と支援
- 中学校生徒指導担当者会及び小学校生徒指導部会との連携
- PDCA サイクルによる評価検証体制の推進
- 学校評価による検証

<各委員の主な助言等>

- ◆ 相談行動促進(自殺予防教育)を推進することで、教師の関心の高まりがみられることから今後も研修の機会を増やすなどして発展させていただきたい。また、スクールソーシャルワーカーの力量の差を埋める手立てについて、今後も検討していただきたい。
- ◆ いじめと不登校の関係において、データをとり検証をおこなっていただきたい。

- ◆ いじめ認知の過程について事例を明確にし、教訓化できるデータにしていきたい。
- ◆ SNSトラブルについて、プライバシーの問題もあることから難しい対応になると思うが、学校教育の中で、取り上げることで、児童生徒から打ち明けることを促進できるような取組も今後検討していきたい。

(2) 令和2年度いじめ防止対策の取組状況に係る評価検証(年間)

<事務局説明>

① 令和2年度加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の取組状況について

- 令和2年度5か年計画の取組状況の結果・効果等について報告
- 令和3年度5か年計画の展開について報告

② 令和2年度いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート(まとめ)について

- 各評価項目について、課題点及び各学校の対応について説明

③ 各学校の学校評価について

- 市内41校の学校評価(ホームページ公開資料)について説明

<各委員の主な助言等>

- ◆ いじめ防止に向けた様々な取組については評価できる。一方で、より効果的な対応が行えるように、事業の精選も行っていたきたい。
- ◆ 学校評価において、学校のいじめ防止に向けた取組について関係者から評価をうけることが徹底されていない。この点について点検を行い、PDCAサイクルが機能しているか確認が必要である。

(3) 令和3年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」及び「いじめ防止対策改善プログラム」推進体制

<事務局説明>

① 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画(2021年度版)及びいじめ防止対策改善プログラム(2021年度版)について

② 各学校のいじめ防止対策改善プログラム 全体計画・年間計画について

③ 令和3年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」及び「いじめ防止対策改善プログラム」推進体制について

- 学校、市教育委員会、評価検証委員会それぞれにおける令和3年度の推進体制について説明

④ 令和3年度学校生活適応推進事業実施要項について

- アセス、心の相談アンケート及び教育相談、学校生活適応推進研修講座(全7回)、相談行動促進(自殺予防教育)の推進について説明

<各委員の主な助言等>

- ◆ いじめ防止対策の運用面で、評価検証委員会の提言を盛り込み改善を図ることについて引き続き検討いただきたい。
- ◆ 「子どもの権利条約」について、5か年計画に反映されており評価できる。
- ◆ 質的分析による議論を進めていくため、非公開での評価検証委員会を追加実施することも含め、検討をいただきたい。
- ◆ 「自己有用感」を高める前提として、「基本的自尊感情」を育むことが大切になる。子どものマインドを耕していく教育に取り組んでいただきたい。教職員もこの考えをベースに持ち、安易に自己有用感を前面に押し出すと危険であるという認識を持つことが大切である。

4 令和3年度第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について

日 時：10月(調整中)

内 容：1学期の取組状況に係る評価検証について